

【レジメン名】 FOLFIRI+ベバシズマブ療法

【病名】 治癒切除不能・進行再発の大腸癌

【投与量】

Day 1 に投与

ベバシズマブ 5 mg/kg : 90 分かけて※¹⁾

イリノテカン 150 mg/m² : 90 分かけて※²⁾

レボホリナートカルシウム 200 mg/m² : 120 分かけて※²⁾

フルオロウラシル(急速静注) 400 mg/m² : 全開投与(10 分ぐらいかけて)

フルオロウラシル(持続静注) 2400 mg/m² : 46 時間持続投与

1 クールを 14 日間とする

※¹⁾ 忍容性を確認後に短縮可

※²⁾ 同時に投与

	Day 1	Day 2	…………	Day 15
ベバシズマブ	↓			↓
イリノテカン	↓			↓
レボホリナートカルシウム	↓			↓
フルオロウラシル(急速静注)	↓			↓
フルオロウラシル(持続静注)	→	→		→

★備考

- ・ベバシズマブによる蛋白尿が発現する可能性がある為、開始前及び投与期間中は定期的に尿蛋白の検査を施行。
- ・ベバシズマブによる高血圧が発現することがある為、投与開始前及び投与期間中は定期的に血圧の測定を施行。
- ・中等度催吐性リスク。